

様式第 16 号 消防用水の概要表記載要領

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|-------------------------|---|--|---|--|
| ① | 水 | 源 | ・設置場所については、対象棟の周囲に設置する場合、当該棟名、当該棟からの方角及び地上又は地下の別を記入し、その他の場合、設置場所名及び地上又は地下の別を記入する。その他の場合は、屋内消火栓設備等（様式第 2 号）に準ずる。 | | | | | | |
| ② | 水 | 源 | 容量 | ・水源の容量を記入する。 | | | | | |
| ③ | 有 | 効 | 水 | 量 | ・常時消防用水として使用できる水量を記入する。 | | | | |
| ④ | 取 | 水 | 口 | の | 設 | 置 | 場 | 所 | ・対象棟の周囲に設置する場合、当該棟名及び当該棟からの方角を記入し、その他の場合、設置場所名を記入する。 |
| ⑤ | 種 | 別 | ・該当するものを選択する。 | | | | | | |
| ⑥ | 口 | 径 | ・設置する吸管投入口の大きさ又は採水口の呼称径を記入する。 | | | | | | |
| ⑦ | 個 | 数 | ・吸管投入口又は採水口の設置個数を記入する。 | | | | | | |
| ⑧ | 吸 | 水 | 落 | 差 | ・取水口から水面までの垂直距離を記入する。 | | | | |
| ⑨ | 加 | 圧 | 送 | 水 | 装 | 置 | ・加圧送水装置を設置する場合は、屋内消火栓設備等（様式第 2 号）に準じて記入する。 | | |
| ⑩ | 起 | 動 | 方 | 式 | ・同上 | | | | |
| ⑪ | 非 | 常 | 電 | 源 | ・同上 | | | | |
| ⑫ | 附 | 属 | 装 | 置 | ・同上 | | | | |
| ⑬ | そ | の | 他 | ・水源が 2 以上設置される場合は、その他欄にその旨を記入し、それぞれ別葉として記入する。
・耐火電線等に接続部が生じる場合は、その工法名を記入する。詳細については、4.(2) ⑨による。 | | | | | |

消 防 用 水 の 概 要 表

様式第 16 号

① 水 源	設置場所	A棟北側			水 量	② 水源容量		
	種 別	受水槽・高架水槽・その他 ()				5 m×5 m× 3 mH = 75 m ³		
	構 造	RC・FRP・その他 ()				③ 有効水量		
	兼用の有無	専用・兼用 ()				5 m×5 m×2.4mH = 60 m ³		
取 水 口	④ 設置場所	A棟北側		⑤ 種別	吸管投入口 ・ 採水口			
	⑥ 口 径	75 mm	⑦ 個 数	2 個	⑧ 吸水落差	1.2 m		
⑨ 加 圧 送 水 装 置	設置場所							
	認 定 番 号			兼用の有無	専用・兼用 ()			
	ポ ン プ	製造者名			電 動 機	製造者名		
		口 径				出 力		kw
		揚 程				電 圧		V
		吐 出 量				電 流		A
		段 数				回 転 数		rpm
回 転 数				始 動 方 式				
⑩ 起 動 方 式	手動 () ・ 自動 ()							
⑪ 非 常 電 源	専用受電 ・ 自家発電 (非常動力) ・ 蓄電池							
⑫ 附 属 装 置	制御盤設置場所			水温上昇防止措置				
	減水警報場所			凍結防止措置				
	補助用高架水槽			耐震措置				
⑬ そ の 他								

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。